



□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

□ TEL 028(677)5033

□ <http://www.hokoren.com>

□ E-Mail : [information@hokoren.com](mailto:information@hokoren.com)

□ 編集責任者 七井 真人

## ■ 県部長との意見交換会、ホンダテクノフォート様を視察

9月12日、県産業労働観光部の茂呂和巳部長が株式会社ホンダテクノフォート様を企業視察しました。ご多用のところ株式会社ホンダテクノフォート様を代表して土井田健三取締役常務執行役員から歓迎のご挨拶をいただきました。

茂呂部長は「株式会社ホンダテクノフォート様はモビリティ開発など幅広い分野でホンダグループを支えている企業と理解しています。

ものづくり県として、自動車産業は大変重要な柱であることから、県は産業振興に力を入れています。県としては次世代自動車等で、どのような支援ができるか皆さまのご意見を伺いながら取り組んでいきたいと思っております。本日は、自動車開発の心臓部を視察できることを楽しみにしております」と挨拶しました。

企業紹介の映像により、モビリティ開発でホンダグループの一翼を担う株式会社ホンダテクノフォート様は、テスト走行業務からスタートして、現在では設計、解析、試作、機能テスト、知的財産など四輪車開発を中心に幅広い領域で、ホンダの研究開発を支える企業であることを理解することができました。

研究開発や試験に関係する施設をご案内いただきましたが、機密性の高い部門が多いことから、施設見学は極めて限定された範囲のみとなりました。

最初の設計室は、車両デザインや基本コンセプトを基に、ボディ、エンジン、シャーシなど機能ごとにCADを駆使して設計をするほか、海外の設計部門をサポートしているそうです。

次に、試作・組立ての施設を視察しました。さらにENGシュミレーションテストでは、ロボットを使用して機能テストを長時間連続して試験することができる施設をご案内いただきました。

さらに、タイヤ性能テストの装置についても説明を受けました。

約1時間の視察でしたが、技術的に豊富な知識を有する茂呂部長は、案内いただいた各所で専門性の高い質問をされ、最先端の研究開発、試験、解析を行っている実態に驚かれたようです。

企業視察に続いて、栃木県工業団地管理連絡協議会主催による県産業労働観光部長と芳工連との意見交換会を管理センターで開催しました。



株式会社ホンダテクノフォート様社屋全景



この意見交換会は、当工業団地の実態を県執行部の皆さまにご理解いただくとともに、立地企業が抱える課題の解決により安全・安心の向上に資することを目的に開催しています。

参加は、栃木県産業労働観光部から茂呂部長ほか職員3名、団管連事務局長1名、芳工連からは13社19名の総勢24名でした。

意見交換会に先立ち、細岡大会長は「県産業労働観光部の皆さまには、工業団地立地企業に対する支援はもとより栃木県における県産業振興施策、さらに、県政全般の発展にご尽力されていることに対しまして、心から敬意と感謝を申し上げます。

広島県、岡山県をはじめ四国地方や山陰地方を中心とした7月の西日本豪雨災害、9月4日神戸市に上陸した台風21号による災害、さらに9月6日北海道胆振地方を震源とするマグニチュード6.7の地震など、全国各地で甚大な自然災害が発生し、市民生活や産業活動に深刻な影響が広がっています。

このようなことから、災害時における企業の事業活動の継続を図る「事業継続計画（BCP）」に基づき、地域社会や経済の安定の確保とともに工業団地立地企業の安全・安心を向上するよう努める事が極めて重要と考えております。

本日は、県執行部の皆さまに企業が抱える課題や工業団地を取り巻く課題を御理解いただくことで、立地企業が安定した成長を持続できるよう、意義ある意見交換会となるよう願っています」と挨拶しました。

県産業労働観光部 茂呂和巳部長は「芳工連の皆様には、本県の産業振興に御理解と御協力をいただきお礼を申し上げます。先ほど企業視察で株式会社ホンダテクノフォート様を訪問させていただきました。快く視察を受け入れてくださいました株式会社ホンダテクノフォート様に改めて感謝を申し上げます。

8月末に公表された平成27年度県民経済計算によりますと、本県の製造業が全国4位であったことから本県は製造業が盛んであることが分かります。皆さまのご尽力によることです。

昨年は、技能五輪・アビリンピック全国大会を本県で開催したところ、皆さまに多大なご協力をいただきました。お蔭様で金メダル4名を含む32名が入賞しまして、念願の団体賞を獲得するなど過去最高の成績を収めることができました。アビリンピックでも金賞2名を含む10名が入賞することができ、全国1位の成績を収めることができました。

この成果を一過性のものとすることなくレガシーとして継承するため、11月に「ものづくりフェスティバル2018」を開催します。本県の産業を担う若年技能者の技能レベルの向上と将来の産業を支える人材育成を図りたいと思います。本日は、県の産業施策についてご説明をさせていただき、企業様からニュースを聞かせていただきたいと思います。県としては円滑な事業活動の支援に努めて参ります」と挨拶しました。



## ■ 企業概要報告

工業団地立地企業を代表して、株式会社関電工北関東・北信越営業本部栃木支社の神山英彦営業副長から、電気設備に関する企業概要を説明いただきました。

また、フルサト工業株式会社宇都宮工場の小牧利彰工場長から、おもに建築物で使用される筋交いなど建築物の金物を製造・販売する企業概要の説明をいただきました。

## ■ 意見交換会

会員企業様から提出された次の意見要望に対して茂呂部長から説明がありました。

Q1 弊社は、芳賀町の工業団地で操業する企業です。手狭となっている状況から用地取得を検討しておりますが、当工業団地は用地不足が課題となっています。

芳賀町の説明では、県企業局が平成31年度の造成に向けて新産業団地の準備を進めているとのことでした。

つきましては、芳賀町の新産業団地造成に係る進捗状況、今後の具体的な計画、分譲に関する手続きの流れ及び時期などについて、詳しくお知らせいただきたくお願いいたします。

A1 県産業労働観光部 茂呂和巳部長の説明は次のとおりです。

昨年度、芳賀・高根沢工業団地に隣接する27ヘクタールの用地を県企業局が調査しました。現在、企業局が調査を進めておりますが、面積的な規模から言えば、何も問題がなければ間もなく完了の見込みです。

結果がまとまった段階で事業実施の流れとなります。一般的な団地開発スケジュールでは、来年度に用地を取得して工事着手となります。早ければ、その翌年度に予約分譲のご案内ができるものと考えています。予約分譲の情報は芳賀町や企業局と相談をしながら、ホームページやパンフレットで情報提供いたします。調査完了が済んでいないので、本日は一般的な流れを申し上げます。

## ■ 県施策の説明

茂呂和巳部長が栃木県の産業政策について、次のように説明しました。

産業構造から県内総生産を見ると、製造業が占める割合は全国平均21.5%ですが、本県は約2倍の40.1%とかなり高い割合です。

第2次産業の構成比については44.5%、うち製造業が40.1%で全国2位となっています。1位の滋賀県に次ぐ「ものづくり県」であることが分かります。

また、製造品出荷額を見てみますと、リーマンショック前12位でしたが、平成21年は13位となり、平成28年は全国12位です。

一人当たりの県民所得は全国で第4位です。これは製造業企業の好調さによるものと理解できます。1位の東京都、2位の愛知県、3位の三重県、5位の富山県、第6位の静岡県は最近不動です。

とちぎ産業成長戦略は平成28年から平成32年を期間とし、5つのプロジェクトを戦略的に進める重点分野としています。(1)自動車・航空産業など先端ものづくり産業の育成・強化、(2)フードバレーなど新たな成長プロジェクト、(3)海外進出や販路開拓支援などのグローバル展



開、(4)新規企業立地や既立地企業の定着支援、(5)国内外の観光誘客に関する観光立県プロジェクトです。これを支える基盤施策として、(1)切れ目のない中小企業・小規模企業の活性化支援、(2)産業人材の確保・育成強化を推進することとしています。

7月30日、14年ぶりに大阪センターを設置しました。関西圏における情報発信力強化の拠点とします。観光物産情報発信と企業誘致を中心に様々な事業を展開して、関西方面からの観光客や本県に進出する企業を増加させたいと思います。



産業人材の確保・育成では、昨年度本県で開催した「とちぎ技能五輪・アビリンピック」は、過去最大規模 1,337 人の参加選手があり、本県参加者数は 137 人（全国 2 番目）、本県成績は入賞者 32 人（金賞 4 人、銀賞 4 人、銅賞 7 人、敢闘賞 17 人など全国 3 番）でした。これを一過性のものとすることなく「技能レベル向上、次世代人材の育成、県民理解の促進、連携体制の構築」の 4 つのレガシーを継承できるよう「とちぎものづくりフェスティバル」を開催します。

UIJ ターン就職支援については、県内大学等への進学は 2,700 人（27.2%）、県外大学への進学は 7,243 人（72.8%）、うち首都圏大学への進学者は平成 28 年度 5,189 人でした。

本県から約 1 万人が大学へ進学するが、1/4 は県内に残り、3/4 が首都圏に就職している実態から、県は首都圏 104 校の大学と就職促進協定を締結して、UIJ ターンを促進しています。「とちまる就活アプリ」や奨学金返還助成（県内製造業に就職）などの情報発信を強化しています。

■ 以上のように、栃木県として重点的に取り組んでいる産業振興に係る施策について、分かり易い資料を活用して詳しくご説明いただきました。県担当者から詳しい説明を直接いただく機会が少ないと思いますので、情報の提供は有難いことでした。

企業視察の受け入れ、或いは、多くの会員企業の皆さまに参加いただくなど、ご協力を賜りまして大変有意義な意見交換会となりました。

## ■ 交通防犯部会を開催

9月21日から30日まで実施された、秋の交通安全県民総ぐるみ運動に合わせ、交通防犯部会メンバーは9月20日に交通安全のぼり旗、交通安全横断幕を管理センター前交差点及び芳賀台交差点の2箇所に設置しました。

続いて開催した第2回交通防犯部会において種子部会長は「今期2回目の部会を開催したところ、皆さまにはご多用のところご出席いただき有り難うございます。明日から秋の交通安全県民総ぐるみ運動が開催されます。皆さまには会社内はもとより芳工連関係の交通安全活動で



もご協力をお願いします」と挨拶しました。

会議により、交通安全街頭広報活動については9月25日、芳賀町交通安全対策連絡協議会が実施する広報活動に芳工連も参加協力することを決定しました。

10月29日（月）開催する安全運転講習会については、「ツインリンクもてぎ」からインストラクターを招き、動画による体験型の危険予知訓練を実施することを決定しました。

また、12月11日（火）から31日（月）の期間、年末交通安全県民総ぐるみ運動が実施されることから「交通安全ステッカー」を社用車へ貼付いただくほか、バスやトラックの前面に「交通安全エプロン」を貼付いただくようお願いすることを決定しました。



## ■ 交通安全街頭広報活動を実施

9月25日、芳賀町交通安全対策連絡協議会の皆さまと一緒に交通防犯部会メンバーなど14社19名が、管理センター前交差点において交通安全街頭広報活動を実施しました。

見目匡芳賀町長は「町を挙げて交通安全に取り組んでいるが、今年になって既に4件の交通死亡事故がありました。芳賀型事故と言われる交差点での交通事故を見ても分かるように、一時停止の交通規制があっても交通事故が発生する状況から、交通マナーを守ることが大切です。住民の皆さまの意識を高めなければなりません。また、夜間走行中の原則ハイビームと夕刻の早め照明点灯をお願いしたいので、地域の皆様への周知に努めていただきたい」などと挨拶しました。

地域自治会代表者、地元の町議会議員、真岡警察署警察官など約80名が、交差点の信号で停車したドライバーに「子どもや高齢者に優しい3S運動」のチラシと反射材のセットを手渡しました。

同席した真岡警察署本澤署長は「1市2町を管轄する真岡警察署は、交通事故発生が県内警察署ワーストワンです。今月15日未明に下高根沢地内で自転車の高齢者が自動車に跳ねられて死亡しています。ハイビーム走行している車両であれば事故を起こさない可能性があります。県警本部ではドライバーに原則ハイビーム走行を奨励しています。ご協力をお願いします」と挨拶しました。



## ■ 安全衛生部会を開催

今期第2回となる安全衛生部会を11社11名の参加で9月13日開催しました。

高山大輔部会長は「次年度開始する創立30周年記念事業のため実行委員会を立ち上げました。高山と大久保副部会長が記念誌発行に関する部門で活動していますので、ご承知の上でご協力をお願いいたします。本日の会議は、新規事業の健康づくり講習会、危険予知訓練研修会、安全活動事例発表会、優良企業視察研修会等について協議をお願いします」と挨拶しました。



協議による決定内容は次のとおりです。10月12日（金）午後2時から開催する健康づくり講習会は、県東健康福祉センター保健師による「健康寿命を延ばす健康づくり」と題する講演です。また、誰でも無理なく参加できる「健康ヨガ」をスポーツインストラクターの指導で体験いただくものです。

11月13日（火）実施する1日コースの危険予知訓練（KYT）については、KYTに関する知識と技能を広く普及させることを目的に、コーディネーターはこれまでの参加者の中から選考することにします。受講者は40名を予定します。

安全活動事例発表会は12月5日（水）午後開催します。発表は（株）オートテックジャパン様を予定しています。また、講習会講師は真岡労働基準監督署野澤卓也署長をお願いしています。

2月に優良企業視察研修会を開催するので、9月中に皆様から視察研修を希望する企業があれば受付することを決定しました。

次回の部会は3月6日（水）午前中に開催することを決定しました。

## ■ 普通救命講習会

安全衛生部会が主催する第3回普通救命講習会を9月19日、会員企業12社から18名の皆さまに参加いただき管理センターで開催しました。

高山大輔部会長は開会の挨拶で「真岡消防署芳賀分署の皆さんにご協力いただき感謝申し上げます。心肺蘇生の方法やAEDの使用方法は、実技で練習しないと、いざというとき使えないのが現実です。これらを適切に行えるよう、正しい知識と正しい実践方法を身に付けていただきたいと思います」と述べました。

講習に先立ち救急救命士は「本日の実習は一次救命措置です。皆さまの身近で意識がない、呼吸がない人がいる場合の措置について受講いただきます。芳賀地区消防本部（1市4町）における昨年1年間の救急出動は6,566件で、そのうち185名が心肺停止状態で病院に運ばれています。この185名について追跡調査をしたところ、



自分で歩いて帰宅することができた方を検証してみると、現場に居合わせた方によって心臓マッサージや人工呼吸など、適切な救命措置を受けた人によって社会復帰できていることが分かりました。

救急車が現場に到着するまで7分から8分かかるので、その間に応急措置をしないと救命率が低下することが分かっています。このことを意識して受講していただきたい」と説明しました。

実技では訓練用マネキンを使用し、参加者一人ひとりが心肺蘇生法とAED使用法について実践しながらに訓練しました。

安全確認、反応確認、119番通報と協力依頼、呼吸確認、胸部圧迫、人工呼吸の手順で心肺蘇生を行ないました。

心肺蘇生を行なっている際にAEDが届けば、直ぐにAEDを使用し除細動（電気ショック）を音声メッセージの指示に従って、必要な手順で使用します。

受講されていない方は、次回以降の講習会に出来るだけ参加されるようお勧めいたします。



## ■ 第39回ボウリング大会

総務企画部会主催の第39回ボウリング大会は10社64名の参加をいただき9月19日、宇都宮市内で開催しました。

今回は、女性のみによるチームが2組出場されたほか、各チームにも女性が多いことが特徴でした。ホイッスルの合図で16レーン一斉に投球が始まる様子は壮観です。出場者の誰もが日常を忘れ熱戦を繰り広げました。

大会を盛り上げようと12人3チームのエントリーで協力してくれた企業様は、選りすぐりのメンバーで秘かに優勝を狙っている様子でしたが、僅かにスコアが及ばず豪華賞品を逃してしまい残念でした。次回の健闘を祈ります。

見事、優勝したチームは（株）ショーワの皆さま（写真右下）でした。前回は優勝できなかったものの前々回まで連続3回の優勝を勝ち取っている伝説の4人組です。今回も見事なスコアで勝利しました。

賞品が漏れなく獲得できることで評判のボウリング大会です。豪華商品の提供は、（株）ホンダテクノフォート様、AGCオートモーティブウィンドウシステムズ（株）様、本田技研工業（株）生産本部栃木オフィス様、大星電機（株）様、（株）オートテックジャパン様、協永堂印刷（株）様、日本梱包運輸倉庫（株）様、（株）栗崎歯車製作所様、



(株)ベストロジ栃木様、サンクレール(株)様、ホンダエンジニアリング(株)、ホンダ開発(株)様からでした。今回も豪華賞品をご提供いただき有難うございました。

## ■ 30周年記念事業実行委員会メンバーが活躍

30周年記念事業実行委員会の事業部会は、渡邊猛部会長と川野淳一郎氏のアドバイスをいただき、第3回と第4回の部会を9月10日、9月26日それぞれ開催しました。さくら祭りやロマン花火は半田毅氏と鎌上章氏が、式典や企業視察などは中山克夫氏と西片孝治氏が企画の検討を担当しています。それぞれ推進スケジュール、実施体制、企画内容の洗い出し、具体化の課題、予算見積の検討結果を報告しました。

第2回の記念誌発行部会は9月19日、富永英夫部会長、高山大輔氏、種子俊明氏、吉富孝司氏大久保美華氏の出席により開催されました。歴代会長の対談スケジュールや質問項目、東日本大震災の復旧・復興及びBCPに関する企業インタビュー質問項目の検討結果などについて報告し、具体的な方向性を固めました。

企業紹介のフォーマットについては、様々な検討を重ねた結果『時代変遷や流行に囚われず、ステークホルダー全体から共感が得られる様式とする』を基本に絞り込みが進みました。

10月22日(月)開催する第4回実行委員会において、記念事業部会と記念誌発行部会がそれぞれに検討してきた企画内容の情報共有を図り、実施計画をとりまとめる予定です。

翌10月23日(火)開催する第2回役員会において、30周年記念事業の基本計画を決定した上で、事業を具体化するための業務委託契約や関係機関への協議を本格化することになります。

## ■ 社名変更のお知らせ

都運送株式会社芳賀営業所様は、グループ会社間の運送・倉庫部門再編にともない9月1日付で「株式会社鈴与カーゴネット北関東」に社名が変更されました。よろしくお願いたします。

### 芳工連日誌

#### 【9月の実績】

- 10日 30周年記念事業部会
- 12日 県産業労働観光部長との意見交換会
- 13日 第2回安全衛生部会
- 19日 第3回普通救命講習会
- 19日 30周年記念誌発行部会
- 19日 第39回ボウリング大会
- 20日 交通安全のぼり旗設置
- 20日 第2回交通防犯部会
- 21日~30日 交通安全県民総ぐるみ運動
- 25日 交通安全街頭広報活動
- 26日 30周年記念事業部会
- 26日 資源ごみ回収日

#### 【10月の予定】

- 1日 交通安全のぼり旗撤去
- 4日 30周年記念事業部会
- 12日 健康づくり講習会
- 15日 30周年記念誌発行部会
- 16日 第2回総務企画部会
- 19日 30周年記念事業部会
- 22日 第4回30周年実行委員会
- 23日 第2回役員会
- 24日 若手研修会
- 24日 資源ごみ回収日
- 25日 第3回クリーン作戦
- 29日 安全運転講習会
- 31日 管理センター管理組合役員会